

# ナツエビネ

Calanthe reflexa Maxim.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

かつてはやや普通の植物であったが、近年園芸採取などによって、顕著に減少しつつある。(現況:V-)

## 形態

苞は開花時に脱落せず、エビネなどと同様であるが、距がないことがサルメンエビネとともに特徴となっている。サルメンエビネの側花弁は長楕円形状倒卵形で、唇弁中央基部に不ぞろいのしわがあり、先端が深く凹んでいるが、本種では側花弁が広い線形で唇弁は平坦、先端は突出する。花色は淡紫色から薄い桃色で特徴があり、20~40cmの花茎上に10~20花を着ける。この属の同定は花を見るしかないが、葉は白味を帯びた緑色で、長さ10~30cm、幅3~6cm、縦じわが多く、先端が尖っていて特徴がある。

## 国内分布

本州、四国、九州、ならびに朝鮮(済州島)、中国南部、台湾に分布。

## 県内分布

奥能登、口能登・加賀中央区および南加賀区。

## 生態など

多年生草本。開花期は7~8月。

## 生育環境

湿った夏緑樹林の林床。

## 危険要因

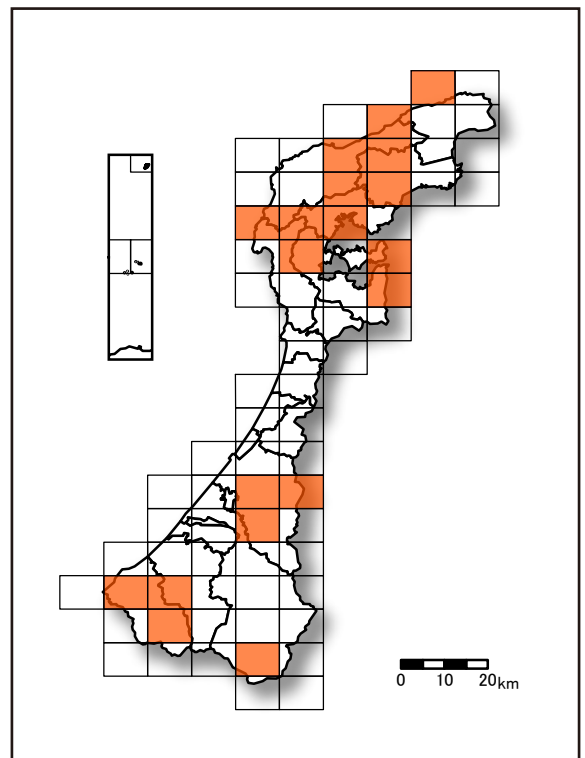
森林伐採、園芸採取、産地局限。

## 特記事項

以前は奥能登にのみ産すると考えられていたが、富士写ヶ岳、白山麓をふくむ南加賀区に広く産する。



小野ふみゑ・2006年8月20日・能登町



県内の分布